1. 基本目標1 文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る

基本方針① 気軽に文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る。

(1)現状と課題・展開

● 文化芸術の鑑賞・体験への「最初の一歩」

文化芸術の鑑賞・体験に対して、「生活の中での優先順位が低いこと」「自分とは違う世界のもの」と感じており、「最初の一歩」が踏み出せない状況にあります。実際に、市民アンケート調査では、文化芸術の鑑賞・活動をしなかった理由として「仕事や家事が忙しく、時間的な余裕がない」「金銭的な余裕がない」「鑑賞・活動する仲間やきっかけがない」といったことが挙がっています。

また、近年はインターネットやテレビ等を通して、コンサートやイベント、美術館等の展覧会に行かずとも文化芸術を身近に鑑賞できる環境が整っており、チケットを購入してホールや美術館に行き、鑑賞・体験する人が減っている現実もあります。

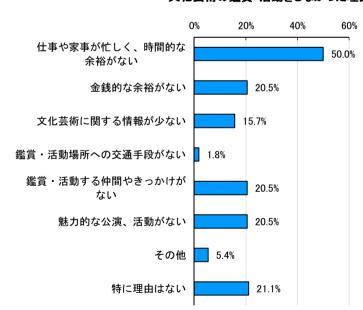
さらに、障がい者や高齢者、子育て中の保護者等の中には、文化芸術の鑑賞・体験に際し、配慮を必要とする場合があります。

今後は、文化芸術を身近に感じ、「最初の一歩」を踏み出せるような啓発や取組を進めることや、誰も が気軽に文化芸術に触れ、文化芸術を通じた交流を行うことで、市民の文化芸術に対する意識を高めて いく必要があります。

〇 アンケート結果(市民)

全体(N=166)

文化芸術の鑑賞・活動をしなかった理由



【シューベルティアーデたんば 街角コンサート】



【済納寺】

年齢や障がいの有無、国籍等に関わらず、すべての市民が等しく気軽に文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図るために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
継続	丹波市 (県を含む) ならで はの文化ホールイベント の充実	市民のニーズや目的に合った特色ある文化ホールイベントの充実を図る。	兵庫県: 丹波の森公苑 丹波市: 文化・スポーツ課
継続	市民の作品展示機会の提供	気軽に植野記念美術館に行けるように、作品 発表をしたい方に展示の機会を提供する。	丹波市教育委員会: 植野記念美術館
継続	鑑賞・体験がしやすい環境 の充実	文化ホールイベント (講演会等含む) での手 話通訳・要約筆記・託児所等の充実を図り、 鑑賞・体験がしやすい環境を整える。	兵庫県 丹波市 団体

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

- ○文化芸術のイベントに 参加する。
- ○文化芸術の鑑賞・体験 を行う。

団体の取組

- ○文化芸術のイベントに 参加する。
- ○団体主導のイベントを 実施する。

行政の取組

- ○文化芸術イベントを実 施する。
- ○市民主体の活動の支援 を行う。

	丹波市(県を含む)"ならでは"の文化ホールイベント			
シューベルティアーデ	1995年から毎年9月~11月にかけて、丹波市・丹波篠山市で開催される国際音	兵庫県		
たんば	楽祭のこと。ホールコンサートをはじめ、両市内で開催する街角コンサート、	(実行委員会)		
	小学校・中学校へのアーティストの派遣を行う「ふるさと音楽ひろば (小学校)」			
	「キン・コン・カン・コンサート (中学校)」等の特徴ある事業を実施している。			
アマチュアアーティス	1998年からバンド・ピアノフェスタを開催し、2002年よりダンス・和太鼓のジ	丹波市		
ト 育成支援事業	ャンルを加えて継続開催している。アマチュア出演者と舞台演出・機器操作を	(実行委員会)		
(A2事業)	担当するアマチュアの舞台スタッフが創りあげる4ジャンル (バンド・ピアノ・			
	ダンス・和太鼓) の"丹波市完全オリジナル企画"として実施している。			

第4章 施策の展開

基本方針② 市民自らが丹波市の文化芸術の良さを再認識する。

(1) 現状と課題・展開

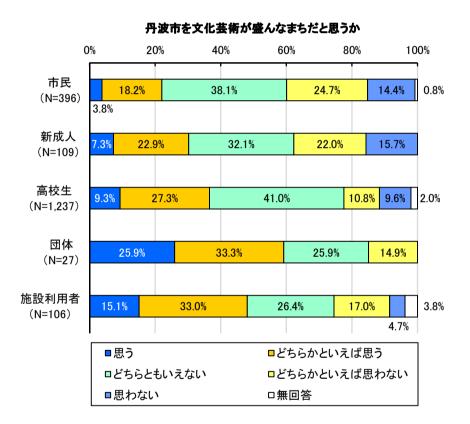
● 市内の文化芸術の再認識

広大な面積の本市には多くの文化芸術が点在しているため、市民自らが市内の文化芸術を知らないことが課題となっています。

アンケート調査の比較では、本市を文化芸術が盛んなまちだと思うかについて、「思う」「どちらかといえば思う」の割合が、団体と施設利用者が約5割~6割に対し、市民の方が2割と低い状況にあります。

今後は、各事業を通して市内の文化芸術を広く周知し、文化芸術を再認識できるような取組を進めていく必要があります。

〇 アンケート結果



【TAMBA シニアカレッジ[※] 現地学習~秋の青垣めぐり~】



市民自らが本市の文化芸術の良さを再認識するために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
継続	市民に対する周知事業の推進	10ヶ寺もみじめぐり事業*等、市内の文化芸術を再認識できるような取組の充実をさらに進める。	観光協会 丹波市:観光課
継続	音楽コンサート事業の充実	丹波の森 国際音楽祭 シューベルティアーデ たんば (街角コンサート) の充実を図る。	兵庫県: 丹波の森公苑
新規	情報発信力の強化	文化芸術について、自治協議会や文化継承の活動に取り組む団体情報や活動情報等を一元的に発信できる仕組みを構築し、市民が文化芸術活動に触れる機会を増やす。	丹波市:市民活動支援センター
継続	地域づくり事業 [※] の支援	丹波市地域づくり交付金、丹波市活躍市民によるまちづくり事業応援補助金等を活用し、 地域における歴史や文化芸術活動を継承する ために、地域独自の取組を支援する。	丹波市:市民活動課

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

- ○各種イベントに参加する。
- ○身近な文化芸術に触れる。

団体の取組

- ○文化芸術を活用した地域 づくり活動を行う。
- ○積極的な情報発信を行う。

行政の取組

- ○市内に向けた情報発信 を行う。
- ○各種イベントの運営 や、活動の支援を行う。

第4章 施策の展開

基本方針③ 県と市の連携を進める。

(1) 現状と課題・展開

● 県と市(文化財課、観光課、植野記念美術館、文化・スポーツ課)の連携

現在、県と市で類似した文化芸術関連事業を同時期に行っていることが多く、市民が参加しにくい状況にあります。

今後は、事業の実施時期や事業内容の調整を行う必要があります。

【シューベルティアーデたんば ガラ・コンサート】



【丹波の森公苑ホール】

【和太鼓フェスタ】



【ライフピアいちじま大ホール】

【三代目磯尾柏里彫刻展】



【植野記念美術館】

県と市の連携をさらに進めるために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
新規	県市連絡会の開催	イベントに適した時期や事業内容が重なるため、年3回程度、県市連絡会を開催し、可能な限り連絡調整を行う。	兵庫県 丹波市

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

○県と市それぞれのイベントに参加する。

団体の取組

○県と市それぞれのイベントに参加する。

行政の取組

○県市連絡会を開催する。

基本方針④ 文化芸術の広域交流を進める。

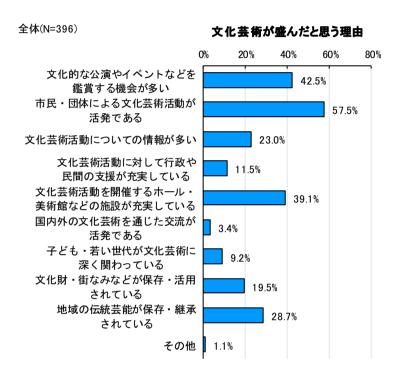
(1) 現状と課題・展開

● 文化芸術の広域交流

市民アンケート調査では、文化芸術が盛んだと思う理由として「国内外の文化芸術を通じた交流が活発である」が 3.4% で最も少なくなっています。このことは、市外との文化芸術交流に対する関心や必要性が低く、根づいていないことが考えられます。

今後は、新たな文化を育むために、異なる文化の相互理解や他市との交流を進める必要があります。

〇 アンケート結果



【スプレーアートパフォーマンス DAISUKE】



【ライフピアいちじまアートサロン】

【淡路人形座公演】



【ライフピアいちじま大ホール】

文化芸術の広域交流を進めるために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
新規	市外のアーティスト等の 舞台公演の開催	他市で活動する劇団やアーティストの舞台公演の開催を検討する。	丹波市: 文化・スポーツ課
拡充	美術展・展覧会の充実	丹波アートコンペティション等の展覧会で、他 市展覧会の受賞作品交流展の開催を検討する。	丹波市: 文化・スポーツ課 丹波市教育委員会: 植野記念美術館
拡充	市外のアマチュア出演者の参加促進	アマチュアアーティスト育成支援事業に市外 出演者の参加を促し、市内出演者や観客との交流やネットワークづくりを行う。	丹波市: 文化・スポーツ課

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

○各種イベントや展覧 会・交流会に参加する。

団体の取組

- ○各種イベントや展覧 会・交流会に参加する。
- ○市外の類似団体との共 同の取組を実施する。

行政の取組

- ○市外のアーティストに よる舞台公演の開催を 検討する。
- ○他市展覧会での受賞作 品交流展の開催を検討 する。
- ○市外の出演者との交流 の場づくりを行う。

2. 基本目標2 文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う

基本方針① 文化芸術活動を行う後継者の育成を行う。

(1) 現状と課題・展開

● 文化芸術活動を行う団体の後継者の育成

団体の構成員の高齢化によりリーダーや後継者の育成ができていないことや、若い世代が文化芸術活動に対して「興味が持てない」「団体に入りづらい」という意識を持っていることから、団体の構成員が減少しています。

団体アンケート調査では、文化芸術活動の問題や課題として、「活動を支える人材」が深刻な問題として挙がっています。

このような状況を打開するためには、研修会や講演会を通じて、文化芸術活動の魅力を伝えていく必要があります。

● 文化ホールの舞台運営をサポートするスタッフの人材育成

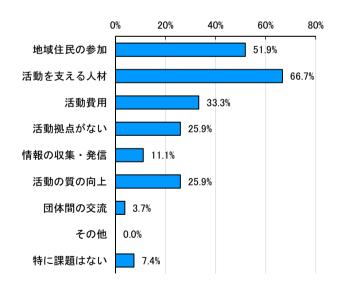
現在、文化ホールの舞台運営をサポートするスタッフは 51 名ですが、イベント時の実動人員としては 少ない人数になるため、人材不足が課題になっています。

また、機器操作等の技術面では、技術指導が不十分であるため、スタッフの技術向上のための取組を 進める必要があります。

〇 アンケート結果(団体)



文化芸術活動の問題や課題



<参考データ>

兵庫県「県民モニター第3回アンケート調査」(平成25年9月~10月)

「芸術家や芸術団体が力を入れるべきもの」

担い手の育成:64.3%、小・中学校で行う芸術文化教育の支援:57.1%

文化芸術活動を行う後継者の育成を行うために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
拡充	文化芸術活動者の育成	団体の活動を若い世代に発信し、活動者の育成を行う。	51 Mb - + -
新規	後継者育成に関する研修 会・講演会の開催	文化芸術活動の「魅力」を伝える等、各種団体への後継者育成に関する研修会・講演会を開催する。	丹波市 関係団体
継続	文化芸術活動団体への支援	文化芸術活動を行う団体への支援(補助)を継続的に行う。	丹波市: 文化・スポーツ課 他
継続	舞台運営オペレーターの 育成	舞台運営等を担うオペレーターの養成講座 (全12回/年)を実施し、人材を育成する。	丹波市: 文化・スポーツ課
新規	アマチュアアーティスト 育成支援事業の推進	アマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ (バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓) について、継続して企画・運営を担える職員の育成を行う。	
継続	地域研究会への事業支援	各地域の郷土史研究会・史実研究会 [※] 等が主体 的に活動できるための事業支援を行う。	丹波市教育委員会: 文化財課

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

○積極的に文化芸術活動 に参加する。

団体の取組

- ○団体の活動を若い世代に 発信する。
- ○団体間で連携をしなが ら、活動者の育成を行う。

行政の取組

- ○団体の活動に対して、支 援や補助を行う。
- ○後継者育成に関する研修 会等の開催を支援する。
- ○オペレーター養成講座を 開催する。

【文化ホールオペレーター養成講座】



【ライフピアいちじま大ホール】

第4章 施策の展開

基本方針② 文化芸術活動への参加促進を図る。

(1) 現状と課題・展開

● 市民の文化芸術活動への参加の促進

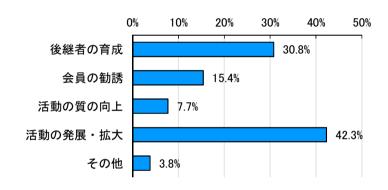
既に市民が参加するきっかけとなる展覧会等のイベントは行われていますが、市民の関心が低いこと が考えられます。

団体アンケート調査では、文化芸術活動の抱える課題を解決し、活動を活発にするために、「活動の発展・拡大」を望む声が多くなっています。

今後は、若い世代が気軽に参加できる機会の提供や、市民が主体となった取組を支援する必要があります。

〇 アンケート結果(団体)

全体(N=26) 活動の将来展望:「団体」として単独で取り組むこと



★団体アンケート自由意見

- 展示会場でのワークショップ等を通じて、 愛好者の増加を図る。
- ・地域住民との活動に、団体として1人でも 多くの呼びかけに取り組みたい。



市民の文化芸術活動への参加を促進するために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
新規	文化芸術活動の機会の提供	丹波アートコンペティションを実施し、入賞者 は植野記念美術館で展示する等、広く活動の場 とモチベーション向上の機会を提供する。	丹波市: 文化・スポーツ課
拡充	若い世代を対象とした体 験活動の機会の提供	若い世代が気軽に参加できる機会を提供する。(アマチュアアーティスト育成支援事業の バンドフェスタでのジュニアステージ等)	丹波市: 文化・スポーツ課
継続	市民主体で実施している 取組への支援	たんば青春俳句祭・田ステ女俳句ラリー等、 市民が主体となって実施する文化的な取組が さらにまちづくりに繋がるように支援する。	丹波市:市民活動課
新規	美術関連の講座の実施	「友の会」との連携の中で美術関連の講座等を 実施し、ガイドボランティア等の活動に繋げる。	丹波市教育委員会: 植野記念美術館

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

- ○丹波アートコンペティションに参加する。
- ○美術関連の講座等に参加する。

団体の取組

- ○既存の活動を継続・拡 充して実施する。
- ○参加のきっかけとなる ような活動を行う。

行政の取組

- ○丹波アートコンペティションの内容を充実させる。
- ○団体の取組がさらに充実 するための支援を行う。

第4章 施策の展開

基本方針③ 団体同士の連携・協調を行う。

(1) 現状と課題・展開

● 団体同士の連携・協調

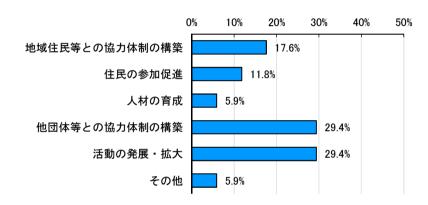
市内の文化芸術活動を行う団体や活動者は、個々で活動しているケースが多く、連携及び協力する環境が十分でないことが考えられます。

団体アンケート調査では、団体における活動の中で、「他団体等との協力体制の構築」を望む声が多くなっています。

今後は、団体の理念や分野を超えた連携・協調ができる環境をつくる必要があります。

〇 アンケート結果(団体)

全体(N=17) 活動の将来展望:「地域住民や他の団体」と連携して取り組むこと



★団体アンケート自由意見

- ・市内外で活動している団体を応援し、舞台に立つ喜び・すばらしさを感じ、体験してもらい、他の団体との繋がりの手がかりを広める。
- 他のジャンル、他地域の団体との合同展などを開催する。



団体同士の連携・協調を行うために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
新規	団体の交流の場づくりの推進	文化芸術サロン※(交流の場)づくりを行う。	
新規	展覧会等による利用促進	春日文化ホールを展覧会の使用形態で無料開放し、分野を超えた団体が集う作品交流イベントを検討する。(仮称「丹波市文化芸術の日」 事業)	丹波市: 文化・スポーツ課 他

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

○作品交流イベント等に 参加する。

団体の取組

- ○団体間での交流・連携 を図る。
- ○分野を超えた団体が集 う作品交流イベントに 参加する。

行政の取組

- ○文化芸術サロン(交流 の場)づくりを行う。
- ○分野を超えた団体が集 う作品交流イベントの 実施に向けて、取組を 進める。

第4章 施策の展開

基本方針④ 文化芸術を担う若手の芸術家の発掘・育成を行う。

(1)現状と課題・展開

● 文化芸術を担う芸術家の育成

学生や若い活動者が文化芸術に関する交流を深める場所が少ないため、若手の芸術家が生まれにくい 状況にあります。

今後は、市内で学生や若い活動者が文化芸術を学ぶことができる機会の充実を図る必要があります。



【第11回丹波市民美術展 市民美術展賞(絵画部門)受賞作品】

「Umbrella Project」 作家:田野陽菜(高校生)

文化芸術を担う若手の芸術家の発掘・育成を行うために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
新規	文化芸術に関する交流の 場づくりの推進	文化芸術サロン(交流の場)づくりを行う。	丹波市: 文化・スポーツ課 他
新規	若い活動者の発表・展示が できる環境の整備	若手作家を紹介する仕組みや、作家のアトリエ**シリーズ等を企画する。	丹波市教育委員会: 植野記念美術館

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

- ○若い活動者の作品を鑑 賞する。
- ○積極的に文化芸術活動 に取り組む。

団体の取組

- ○若い活動者の育成や、 活動の場を提供する。
- ○体験教室等のイベント を実施する。

行政の取組

- ○文化芸術サロン(交流 の場)づくりを行う。
- ○若い活動者の活動を支 援する。

【第32回丹波の森ウッドクラフト展 ジュニアの部】 【グランプリ (文部科学大臣賞) 受賞作品】



作家:大森春菜(小学生)

基本方針⑤ 市の中心地域に文化芸術の鑑賞・活動を行うことができる施設の整備を図る。

(1) 現状と課題・展開

● 文化ホール等の文化的施設への利便性

現在、設備が最も充実している「ライフピアいちじま大ホール」では、音楽コンサートや人形劇、映画会、アマチュアアーティスト育成支援事業等のイベントを開催していますが、市民の中には時間的な余裕がなく、気軽に参加できない状況にあります。

一方、植野記念美術館は市の中心地域にあり、図書館は各地域にそれぞれ1施設あるため、市民の利便性は確保できています。

このような状況において、文化ホールは多くの市民が参加・利用できる環境をつくる必要があります。

【県民芸術劇場スーパーブラスライブ】



【ライフピアいちじま大ホール】

【ミュージカル公演】



【春日文化ホール】

文化ホール等の施設の長寿命化を図りながら、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
継続	文化ホールの施設整備	春日文化ホールが使用不能となり、また、ライフピアいちじまが老朽化により建替えの必要が生じた際に、市の中心地域に新たに文化ホールの建設も含めた検討を行う。(丹波市生涯学習施設整備方針[適正配置計画]*平成25年2月策定)	丹波市: 文化・スポーツ課 他
継続	住民センターの施設整備	「適正配置計画」に基づき、市民の日常的な 生涯学習の場や地域づくり活動の場として、 施設の安定した維持管理を行う。	丹波市:市民活動課

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

- ○文化ホールイベント等に 参加する。
- ○住民センターを利用する。

団体の取組

○文化ホールや住民セン ターを利用する。

行政の取組

○各施設の長寿命化を図 りながら施設整備等の 検討を進める。

基本方針⑥ 丹波市(県を含む)ならではの舞台芸術等に磨きをかける。

(1) 現状と課題・展開

● 市民の文化ホールイベントへの意識・関心

本市で既に実施している、文化ホール自主事業や映画会、市民参画型フェスタ等では年間約2万人の 来場者がありますが、集客数が伸び悩んでいる状況にあります。

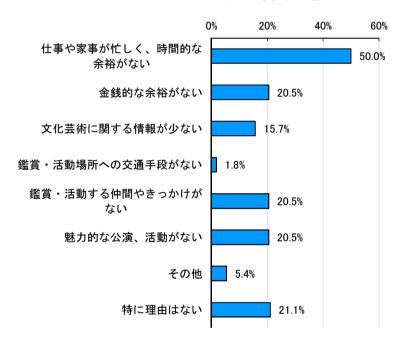
市民アンケート調査では、文化芸術の鑑賞・活動をしなかった理由として「仕事や家事が忙しく、時間的な余裕がない」「金銭的な余裕がない」「鑑賞・活動する仲間やきっかけがない」「魅力的な公演、活動がない」といったことが挙がっています。

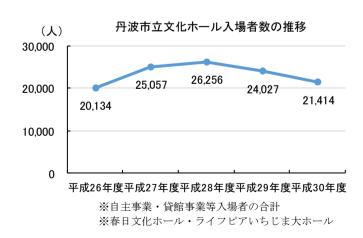
今後は、イベントをさらに市民ニーズにあった内容にし、より多くの市民の意識・関心を高めていく 必要があります。

〇 アンケート結果(市民)

全体(N=166)

文化芸術の鑑賞・活動をしなかった理由







※特別展・企画展・貸室等入館者の合計

「他の人もつれてきたい」「もう一度この場所に来たい」と思えるような、丹波市(県を含む)ならではの文化ホールイベントを行うために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
継続	丹波市ならではの文化ホ ールイベントの開催	本市の特徴的な分野やレベルに特化した取組をさらに進める。特にアマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ(バンド 22 回、ピアノ 22 回、ダンス 18 回、和太鼓 18 回)は、「丹波市完全オリジナル企画」として PR・開催する。	丹波市: 文化・スポーツ課
継続	シューベルティアーデたんばの充実開催	シューベルティアーデたんば (ガラ・コンサート) をより身近な取組として実施する。	兵庫県: 丹波の森公苑

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

○文化ホールイベントに参加し、魅力を発信する。

団体の取組

○文化ホールイベントに参 画し、魅力を発信する。

行政の取組

○文化ホールイベントを開催し、魅力を発信する。

【ダンスフェスタ】



【ライフピアいちじま大ホール】

3. 基本目標3 子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を増やす

基本方針① 普段の生活の中で、子どもたちの記憶に残るような文化芸術鑑賞・活動を行う。

(1) 現状と課題・展開

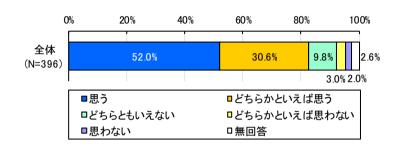
● 普段の生活の中で子どもたちの記憶に残るような体験

市民アンケート調査では、子どもの頃から質の高い文化芸術に触れる機会が必要だと思う人(「思う」「どちらかといえば思う」の合計)の割合が8割以上と非常に高くなっています。このことは、市民の中に子どもの頃から文化芸術に触れる機会を与えた方が良いという意識があり、文化芸術の鑑賞・体験の充実を望んでいることが考えられます。

市内には、既に文化芸術が豊富にあるため、新たに何かを創り出すのではなく、既存の文化芸術を活用しながら、記憶に残るような文化芸術に触れる機会をつくる必要があります。

〇 アンケート結果(市民)

子どもの頃から質の高い文化芸術に触れる機会が必要だと思うか



● 普段の生活の中で子どもが文化芸術に触れる機会の充実

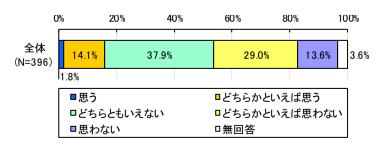
市民アンケート調査では、子どもの文化芸術に触れる機会が充実していると思う人の割合が2割以下と非常に低くなっています。このことは、文化芸術への関心が低いことや、地域の中で祭り等を体験できる機会が減っていること等が考えられます。

また、近年は子どもの習い事等が増え、文化芸術に触れる時間が少ないことも課題として考えられます。

今後は、文化芸術に触れる機会を数多くつくる必要があります。

〇 アンケート結果(市民)

丹波市では子どもの文化芸術に触れる機会が充実していると思うか



子どもたちの記憶に残る文化芸術鑑賞・活動を行うために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
継続	プロの演奏家との共演	プロの演奏家を招き、子どもたちとの共演を 行う。(プロの演奏家+市内中学校吹奏楽部等 の共演)	
継続	アマチュアアーティスト 育成支援事業の推進	アマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ (バンド・ピアノ・ダンス・和太鼓) の取組を行う。	丹波市: 文化・スポーツ課
拡充	子ども・若者対象のイベントの開催	高校生企画(卒業ライブ)、ライフピア DE クリスマス*、0歳からのコンサート等、幼児から若者対象の取組をさらに進める。	
継続	シューベルティアーデた んばの充実	シューベルティアーデたんば (街角コンサート) の充実を図る。	兵庫県: 丹波の森公苑
新規	美術館の団体観覧の充実	学校単位の団体観覧だけでなく、PTA・子ども 会行事等での観覧機会を増やし、学びの場を 提供する。	丹波市教育委員会: 植野記念美術館
継続	伝統文化や伝統芸能への 子どもが参加できる環境 整備	地域づくり事業を通じて、伝統文化や伝統芸能の継承を行い、子どもたちが積極的に参加できるよう、地域との関わりをさらに充実させる。	各種団体各地域

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

○親子で文化芸術鑑賞や 体験に参加する。

団体の取組

○子ども向けの体験イベ ント等を実施する。

行政の取組

○子どもが文化芸術に触 れる機会を提供する。 基本方針② 学校教育で、優れた文化芸術に身近に触れ、感じる力(まごころ・愛着・想像力・創造力)を育む。

(1) 現状と課題・展開

● 学校教育での文化芸術体験(音楽・舞台芸術関系)

市民アンケート調査では、子どもが文化芸術に親しむために必要な取組として、「芸術家による公演等、学校における鑑賞体験の充実」が約6割と高くなっています。

本市では既に、国や県の事業を活用し、小学校への交響楽団等の派遣や、中学校のオーケストラ鑑賞 及び体験等に取り組んでいます。

今後は、学校の教育課程だけでなく、課外活動で文化芸術体験ができる機会の充実を図る必要があります。

● 学校教育での文化芸術体験(地域学習関系)

同調査では、「イベント・芸術祭等、地域での文化行事への参加機会の提供」や「伝統芸能・祭り等、 地域の伝統文化を体験する機会の提供」が必要な取組として挙がっています。

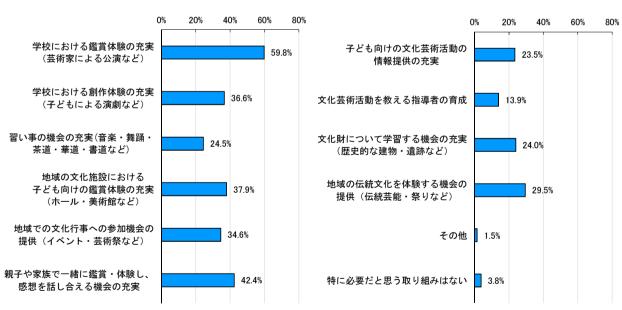
本市では、小学校の授業で「たんばふるさと学*」や「地域学習」を行っており、地域住民から学ぶ機会を増やすことで、市内の文化芸術に対する理解をさらに深めることができると考えています。

今後も、地域との連携を行い、本市の文化芸術に触れる機会を充実し、子どもたちの郷土愛を育む必要があります。

〇 アンケート結果(市民)

全体(N=396)

子どもが文化芸術に親しむために必要な取り組み



学校教育で優れた文化芸術に触れる機会を充実させ、豊かな感性を育むために以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
継続	アーティストの学校への 派遣	シューベルティアーデたんば等で学校へのアーティストの派遣をさらに充実させる。 小学生: ふるさと音楽ひろば 中学生・高校生: キン・コン・カンコンサート	兵庫県: 丹波の森公苑
継続	子どもの音楽体験教室・鑑 賞事業の実施	文化庁による「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣・巡回指導)」を活用するとともに、中学生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」に取り組む。	
継続	たんばふるさと学(生活科・総合的な学習の 時間等)の充実を図る。		丹波市教育委員会: 学校教育課
継続	社会科副読本を活用した 地域学習の充実	社会科副読本(わたしたちの丹波市)を活用し、 社会科学習において地域学習の充実を図る。	

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

○学校と連携し、地域で 子どもを育てる。

団体の取組

○学校と連携し、子どもた ちに文化芸術を体験でき る機会を提供する。

行政の取組

○学校教育カリキュラム で、より丹波市の文化 芸術に触れることがで きるように、取組を充 実させる。

。 トピックス

~市民アンケートより~

- ~子どもが文化芸術に親しむことにより、どのような効果を期待しますか?~
- ①豊かな感性が生まれる 80.3%
- ②地域の文化を知り地域に愛着を持つようになる 55.6%
- ③コミュニケーション能力が高まる 46.2%

基本方針③ 子育ての過程で、親子で文化芸術に親しむために取組を進める。

(1) 現状と課題・展開

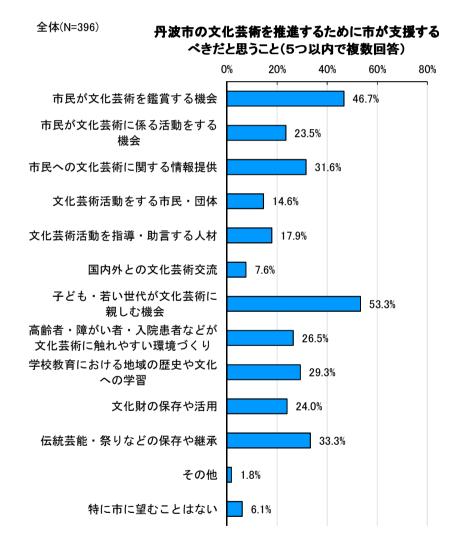
● 子育て世代への文化芸術の重要性の浸透

子育て世代が文化芸術に触れる機会が少ないと、子どもの文化芸術に対する興味・関心が低くなる傾向があるため、感性豊かな子どもを育むためには、まず子育て世代の意識を高めていくことが課題として考えられます。

市民アンケート調査では、本市の文化芸術を推進するために市が支援するべきだと思うことをみると、「子ども・若い世代が文化芸術に親しむ機会」が53.3%で最も多くなっています。

今後は、親子で文化芸術を体験できる機会を充実させる必要があります。

〇 アンケート結果(市民)



子育ての過程において、文化芸術に親しむことができる取組を進めるため、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
新規	文化芸術と子育てに関す る研修会・講演会の開催	子育てをする上で「文化芸術の鑑賞等が非常 に大きな力となる」ことを伝える研修会・講 演会を開催する。	丹波市教育委員会: 子育て支援課
新規	親子で参加し交流できる場づくりの推進	20代~30代の子育て世代が、子どもと一緒に交流できるような文化芸術サロン(交流の場)づくりを行う。	丹波市: 文化・スポーツ課

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

- ○研修会や講演会に参加 する。
- ○親子で文化芸術活動に 参加する。

団体の取組

○親子で参加できるよう な、文化芸術活動を実 施する。

行政の取組

- ○親子で文化芸術を通じ た交流ができる場づく りを行う。
- ○文化芸術の重要性を伝える研修会・講演会を 開催する。

【木のぬくもり展】



【植野記念美術館】

4. 基本目標4 観光・まちづくり等への有機的な連携を進める

基本方針① 伝統芸能・伝統文化等の保存・継承・活用を行う。

(1) 現状と課題・展開

● 伝統芸能・伝統文化等の保存・継承・活用

市民アンケート調査では、大切にしたい文化的資源として「地域の祭り・行事・芸能等の伝統文化」が 56.3%で最も多くなっています。しかし、一部の伝統芸能は、後継者不足により保存・継承が困難な 状況にあることが喫緊の課題となっています。

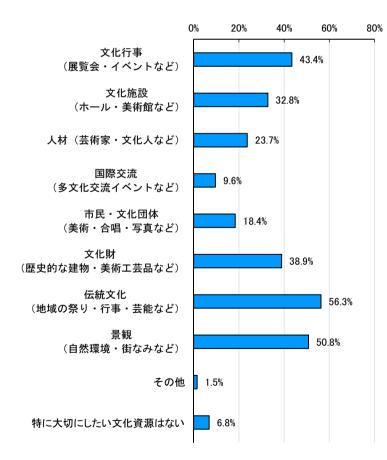
後継者不足の要因としては、人口減少もありますが、加えて若い世代が伝統芸能や行事に関心が低い ことが考えられます。

今後は、若い世代が参加しやすい環境の整備を行い、伝統芸能・伝統文化を保存・継承・活用してい く必要があります。

〇 アンケート結果(市民)

全体(N=396)

大切にしたい丹波市の文化的な資源



【熊野神社の裸祭】



【常勝寺追儺式 鬼こそ】



伝統芸能・伝統文化等の保存・継承・活用を行うために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体	
継続	保存・継承に対する理解の 促進	若い世代へ祭り等の意義等を伝承し、保存・ 継承を行う。	関係団体 各地域	
継続	地域への参画	職員自らが一人の市民として積極的に地域に 参画・貢献する。	丹波市:市職員	
継続	伝統芸能・伝統文化の活用	若い世代が参加しやすい環境の整備を行い、伝統的な芸能や文化を大切に活用する。	丹波市 各種団体 各地域	
継続	伝統芸能・伝統文化の観光 資源としての活用	伝統芸能・伝統文化等の魅力に磨きをかけ、 観光資源として活用する。	丹波市:観光課 他	

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

○地域の伝統行事等に参 加する。

団体の取組

- ○伝統行事等の保存・継 承を行う。
- ○地域の伝統文化や街な みを活用する。

行政の取組

○団体の活動に対して支 援する。

ットピックス

~観光との連携~

〇既存の観光資源に磨きをかけるとともに、新たな資源を発掘する必要がある (丹波市観光・商工業ユニティプランより抜粋:平成30年3月策定)

丹波市には、魅力的な観光資源として「観光地」「観光施設」「食」などがありますが、既存の観光資源の魅力をさらに磨き、あるいは眠っている観光資源を発掘・活用し、これらの観光資源を効果的に発信し、丹波市に多くの観光客を呼び込むシティプロモーションを有効な手段としていく必要があります。

(中略)

丹波市における観光の大きな発展の ためには、まずは「観光資源の魅力を 高める」ことが必要です。 丹波市の文化芸術や歴史を活かすことは、 丹波市の魅力発信に繋がります。

基本方針② 文化財(技術を含む)の保存・継承・活用を行う。

(1) 現状と課題・展開

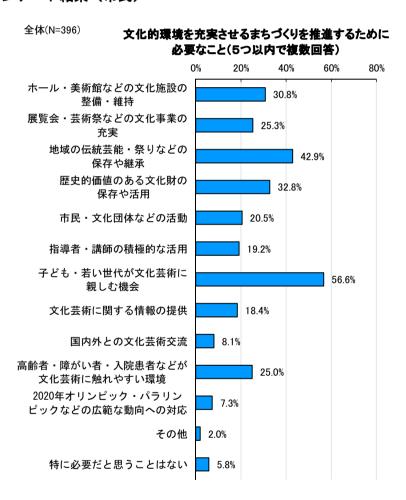
● 文化財(技術を含む)の保存・継承・活用

市内には、多くの文化財及び技術(以下「文化財等」という。)がありますが、伝統芸能・伝統文化と同様に、後継者不足による保存・継承・活用が課題となっています。

今後は、文化財等を積極的に活用していくことで、保存や継承に繋げていく必要があります。

また、それぞれの文化財等の現況を把握し、保存や継承、活用をするための取組を進める必要があります。

〇 アンケート結果(市民)



【檜皮葺き建造物に係る技術】



【たんば黎明館】



【旧氷上高等小学校校舎】

文化財等の保存・継承・活用を行うために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体
継続	文化財等の保存・継承・活用	文化財等を積極的に活用することで、保存・継承に繋げる。	丹波市教育委員会: 文化財課 各地域
継続	文化財等の観光資源とし ての活用	文化財等の魅力に磨きをかけ、観光資源として活用する。	丹波市:観光課 他
継続	文化財等を活かした作品 等の集積・展覧	丹波布や稲畑人形等の文化財を活かした特徴 ある展覧会を企画し、保存・継承へと繋げる。	丹波市教育委員会: 文化財課 関係団体
継続	資料館の整理統合	水分れ資料館のリニューアルの実施、並びに 各資料館の整理統合と併せて、市内に点在す る文化財等の保存の充実を図る。	
新規	文化財保護の意識高揚	歴史遺産を残していくために、市民の関心や 保護意識の高揚を図る事業を展開する。(文化 財保存活用地域計画の策定等)	丹波市教育委員会: 文化財課
継続	文化財等の保存・整備事業への支援	文化財等の保存・整備に対する補助金交付施 策の充実を図る。	

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

○市内の文化財等を学ぶ。

団体の取組

○地域の文化財等の保存 や継承・活用を行う。

【ようこそお茶の国丹波へ 黒井城跡】



【NHK 大河ドラマ「麒麟がくる」誘致イベント】

行政の取組

- ○保存や継承活動に対し て、支援・補助をする。
- ○積極的に活用し、保 存・継承を進める。

第4章 施策の展開

基本方針③ 文化的資源を新たに発掘・活用する。

(1) 現状と課題・展開

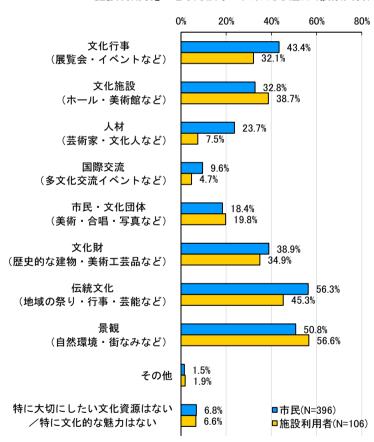
● 文化的資源の新たな発掘・活用

市民と施設利用者のアンケート調査では、大切にしたい文化的資源として、「自然環境・街なみなどの景観」や「地域の祭り・行事・芸能などの伝統文化」の割合が高くなっています。特に、街なみや景観に関しては、SNS*等での発信が注目を浴びていることから、文化的資源の新たな発掘手段として有効であると考えられます。

今後は、文化的資源の新たな発掘や活用方法を検討し、観光やまちづくりに活かす取組を進める必要があります。

〇 アンケート結果(市民、施設利用者)

「市民」が大切にしたい丹波市の文化的な資源、 「施設利用者」が思う丹波市の文化的な魅力(複数回答)



【丹波かいばら雛めぐり】



【第4回丹波の手仕事展】



【俳人細見綾子生家】



文化的資源を新たに発掘・活用するために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体	
継続	文化的資源の観光資源としての活用	新たな文化的資源を発掘すると共に、磨きを かけ、観光資源として活用する。	丹波市:観光課 他	
新規	歴史的な建物等の活用	歴史的な建物や街なみを活用したアート展等の開催を検討する。	丹波市 各種団体 各地域	
拡充	文化的資源の学習機会の 検討	気軽に文化的資源を観ることができる学習機 会を企画・検討する。	丹波市: 市民活動課 他	
拡充	文化的資源の情報提供の仕組みの検討	市民リポーターから文化的資源(景観・祭り・ 人等)の情報提供を得る仕組みを検討する。 (例:インスタ映え※スポット)	丹波市: 総合政策課 他	
継続	芸術家・文化人の顕彰	ゆかりの深い芸術家・文化人の作品展示や活動紹介等により顕彰を行う。	丹波市 各種団体 各地域	

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

○地域にある、文化的資 源の魅力を発信する。

団体の取組

- ○地域にある、文化的資 源の魅力を発信する。
- ○文化的資源を活用した 取組を進める。

行政の取組

○文化的資源を新たに発 掘・活用し、観光事業 等を展開する。



【中井権次 彫刻下絵(綾部市浄光寺)】



【犬童球渓 旅愁の碑(たんば黎明館前)】

基本方針④ 情報発信を積極的に行う。

(1) 現状と課題・展開

● 適切な情報発信

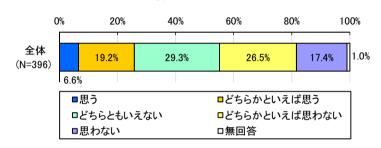
市民アンケート調査では、文化芸術の情報を十分に得ていないと思う人(「思わない」「どちらかといえば思わない」の合計)が 43.9%と多くなっています。

また、文化芸術に関する情報源については、「市の広報紙・防災行政無線」「チラシ・ポスター」「新聞・書籍・雑誌」「家族・友人・知人からの口コミ」が高くなっています。

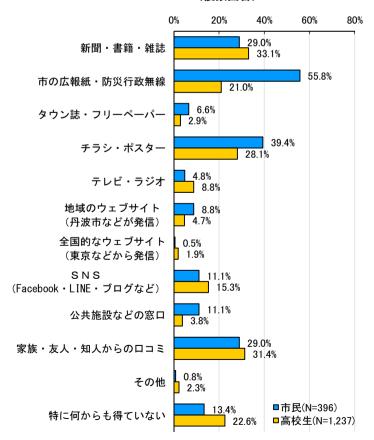
今後は、既存の情報発信の手段だけでなく、新たな手段の検討と発信内容の充実を図る必要があります。

〇 アンケート結果(市民、高校生)

丹波市の文化芸術に関する情報を十分に 得ることができるか



「市民」「高校生」の丹波市の文化芸術に関する情報源 (複数回答)



魅力ある文化芸術の鑑賞・体験に繋がるような適切な情報発信を行うために、以下の施策を推進します。

分類	施策	内容	実施主体	
新規	ビデオを活用したプロモーションの実施	ビデオ媒体を活用し、本市の多様な文化芸術の PR を行う。	丹波市: 文化・スポーツ課、 観光課	
新規	情報発信手段の検討	新たな情報発信を検討する。	丹波市:総合政策課、 文化・スポーツ課、 観光課 他 丹波市教育委員会: 植野記念美術館、 文化財課	

(3) 実現に向けての役割

市民の取組

○文化芸術に興味・関心 を持つ。

団体の取組

○積極的な情報発信を行う。

行政の取組

- ○プロモーションビデオを 活用し、PR を行う。
- ○幅広い手法で、きめ細や かな情報発信を行う。

5. 数値目標

本計画の取組を着実に推進することを目的とし、アンケート調査や定期的な統計調査による数値等を基に設定しています。

項目	指標	考え方	現状値 (H30)	目標値 (R11)	出所	算出方法・考え方
	一年以内に市内の文化ホールなどが行う舞台芸術・音楽コンサートや、 美術館などが行う美術展などへ行ったことがある市民の割合	舞台芸術公演や美 術展への関心が高 まっているか。	33. 5%	47.0%	総合計画の 数値目標	過去5年の実績を 参考に目標を設定
	一年以内に地域の伝統芸能や伝統行事へ参加した、又は鑑賞したことがある市民の割合	地域に対する誇 りや愛着の醸成 ができているか。	51.9%	62.0%	n	n
	植野記念美術館への年間 入館者数	美術展への関心が 高まっているか。	18, 369 人	24,000 人	教育振興基 本計画の数 値目標	過去5年の来館者 数の平均(19,668 人)に対し、1.2倍 を目標に設定
人づくり	文化ホール事業の来館者数	ホールイベント に興味関心が高 まっているか。	21, 414 人	28,000 人	II	過去5年の来館者 数の平均(23,377 人)に対し、1.2倍 を目標に設定
	丹波アートコンペティションの作品応募数(市民のみ)	作品の創作活動 を行う市民が多 くなっているか。	143 点	170 点	n	過去5年の実績を 参考に目標を設定
	一年以内に文化芸術鑑 賞・活動をしたことがあ る市民の割合	文化芸術鑑賞・活 動が行える環境が 充実しているか。 (基本目標1・2)	57.8%	65.0%	本計画の 数値目標 (市民-問7)	他市の状況を参考に目標を設定
	子どもたちの文化芸術に 触れる機会が充実してい ると思う市民の割合	子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会が増えているか。 (基本目標3)	15. 9%	20.0%	# (市民-間 25)	n
	文化芸術が盛んなまちだ と思う市民の割合	文化芸術が盛んなまちかどうか。	22.0%	35.0%	リ (市民-問 11)	n
まちづくり	まちづくりを推進するために「歴史的価値のある 文化財の保存や活用」が 必要と思う市民の割合	文化財への関心が 高まっているか。 (基本目標4)	32.8%	40.0%	ル (市民-間 20)	11
	市内の文化芸術に関する施設来館者数の合計	文化芸術がまちの 賑わいや活性化に 貢献しているか。	120, 588 人	137,000 人	県・市の 関係部署	過去5年の実績を 参考に目標を設定 ※県市ホール・植 野記念美術館等 の合計数値

6. 計画の推進(進捗管理)

本計画の推進にあたっては、県や庁内関係課、各種団体との連携を図りながら「庁内検討会議」において、自己点検や進捗管理を行います。

なお、本計画はその時々の課題解決のために、必要に応じて「丹波市文化芸術推進審議会」において 見直しを図ります。

(1) 庁内推進体制

各課における施策の進捗状況の把握については、庁内検討会議において、進捗状況の共有を図り、事業の充実に努めます。

施策の実施状況については、本計画の着実な推進と成果の見える化を図るため、毎年度、施策の実施 状況を明らかにし、公表します。

(2) 関係機関等との連携

文化芸術の推進にあたっては、国や県、関係機関等の取組の動向を十分に踏まえ、連携や協働をしながら取り組みます。

(3) 市民・団体等との協働

文化芸術の推進は、行政の取組だけで達成することはできません。市民を始め、団体等が主体的に取り組む必要があるため、市民、団体等との様々な連携や協働を図り、本計画を推進します。